

# CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	神戸長田物流センター西棟	階数	地上3F、地下0F
建設地	兵庫県神戸市	構造	RC造
用途地域	工業専用地域、準防火地域	平均居住人員	670 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年7月 予定	評価の実施日	2023年4月20日
敷地面積	50,181 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社大林組 谷田一平
建築面積	29,702 m <sup>2</sup>	確認日	2023年4月21日
延床面積	83,737 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社大林組 太田裕人



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 2.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

3(保健)	2.6
4(教育)	2.0
5(ジェンダー)	2.3
6(水・衛生)	2.0
7(エネルギー)	2.3
8(経済・雇用)	1.6
9(イノベーション)	2.0
11(都市)	2.3
12(生産・消費)	2.1
13(気候変動)	2.3
15(陸上資源)	1.3
17(実施手段)	1.8

\* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Q のスコア = 3.3**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア= 0.0

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.1

**LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.8**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.8

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 高効率な設備機器、節水器具を積極的に採用し、省エネルギー性能に配慮している。また、階高や荷重に余裕を持たせ、ゆとりのある計画としている。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> ・評価対象外	<b>Q2 サービス性能</b> ・階高、壁長さ比率、荷重に余裕を持たせ、ゆとりのある空間としている。 ・非常用発電機を備えることで、災害時の建物機能維持に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・周辺環境に配慮し、道路境界線、敷地境界線沿いには植栽を積極的に設けている。 ・外壁の色調や位置の検討、外観パースの作成による景観検証を行うなど、まちなみに配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> ・照明はLEDを採用し、高効率機器を選定している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水器具の採用や、リサイクル材の積極的な採用で、資源保護に配慮している。 ・PRTR法に該当しない建材の採用、ノンフロン断熱材を採用することで、環境影響を及ぼす材料の使用削減に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される





